

まったので、仁王さまがケサをほしておいたという、ケサ石というところもあるそうです。

## 朝日山の炭やき太郎

むかしむかし、力の大変強い、そして、目のひじょうに良くきく、炭やきの太郎という若者が、朝日山のふもとにすんでいました。

太郎は、遠くの山まで、その良くきく目で炭にする良い木をさがし、その力でどんなところからも木をきりだし、はこびだしてしまうので、できる炭は良いものばかりで、炭やきの名人と仲間からいわれていました。

その日も、太郎は朝日山の頂上から、遠くの山を見おろしていました。そして、ふだんにゆうわな顔つきが、村の方に目をやるとけわしいぎょうそうになり、そばにあ